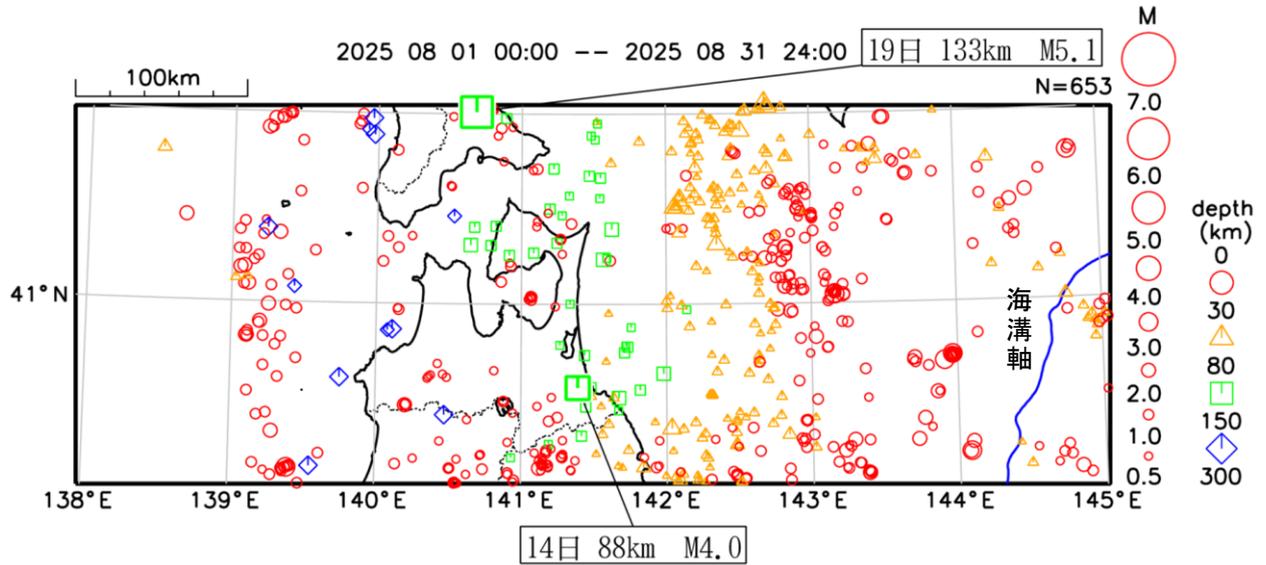


青森県月間地震概況

2025年8月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模
吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【8月の地震概況】

今期間、青森県内で震度1以上を観測した地震は11回（7月：8回）であった。このうち、青森県内で震度3以上を観測した地震は1回（7月：0回）であった。

14日12時48分に青森県三八上北地方の深さ88kmでM4.0の地震が発生し、八戸市などで震度2を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

震度分布：<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/#20250814124852>

19日07時19分に渡島地方東部の深さ133kmでM5.1の地震が発生し、外ヶ浜町と東通村で震度2を観測した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の上面）で発生した。

震度分布：<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/#20250819071924>

図の範囲外であるが、22日07時34分に宮城県沖の深さ43kmでM5.6の地震が発生し、八戸市などで震度2を観測した。また、30日01時29分に、この地震の震央の南約30km付近の深さ41kmでM5.8の地震が発生し、階上町で震度3を観測した。これらの地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震央周辺では、「1978年宮城県沖地震」（M7.4、岩手県、宮城県、山形県、福島県で震度5、青森県で震度4）が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

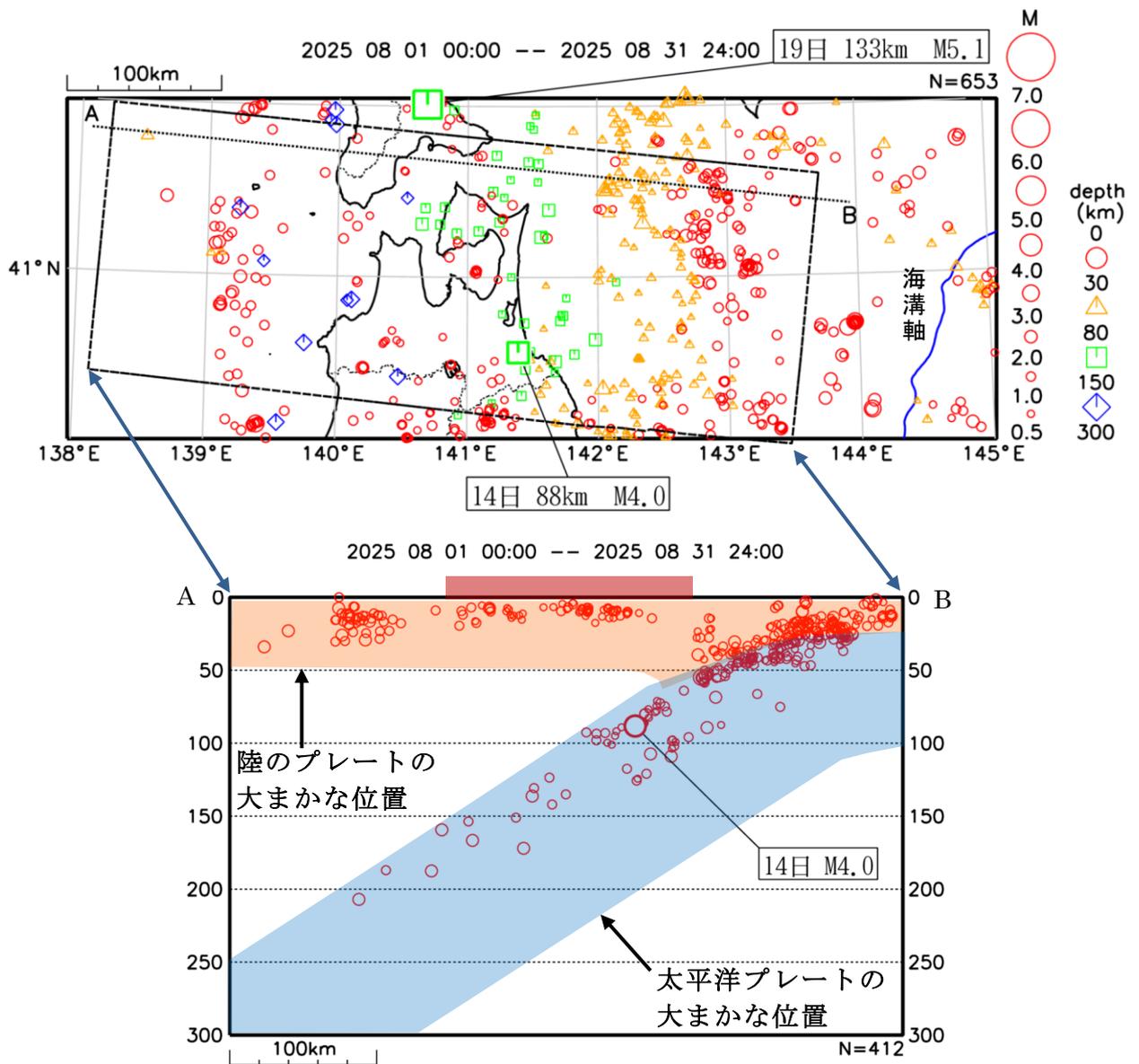
震度分布：

(22日07時34分 M5.6) <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/#20250822073443>

(30日01時29分 M5.8) <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/#20250830012920>

各地の震度は「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのことが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年 8月 1日～2025年 8月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2025年08月05日01時42分	秋田県沖	40° 07.6' N	139° 24.0' E	20km	M3.8
青森県	震度 1 : 深浦町岩崎*				
2025年08月05日22時10分	岩手県沿岸北部	39° 45.4' N	141° 50.8' E	58km	M3.7
青森県	震度 1 : 青森南部町苫米地*				
2025年08月09日02時36分	岩手県沖	40° 20.7' N	142° 02.1' E	52km	M3.8
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏*				
2025年08月12日18時11分	釧路沖	42° 21.4' N	144° 33.4' E	22km	M5.5
青森県	震度 1 : 平内町小湊 外ヶ浜町蟹田* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 野辺地町野辺地* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 六ヶ所村尾駈 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*				
2025年08月14日12時48分	青森県三八上北地方	40° 33.5' N	141° 23.3' E	88km	M4.0
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 平内町小湊 八戸市南郷* 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 三沢市桜町* 野辺地町田狭沢* 野辺地町野辺地* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駈 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町沖田面* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市金谷* むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糠*				
2025年08月14日16時31分	日高地方西部	42° 46.7' N	142° 38.8' E	125km	M3.9
青森県	震度 1 : むつ市大畑町中島* 東通村砂子又沢内*				
2025年08月19日07時19分	渡島地方東部	42° 00.5' N	140° 40.9' E	133km	M5.1
青森県	震度 2 : 外ヶ浜町蟹田* 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 青森市花園 五所川原市太田 五所川原市敷島町* 五所川原市金木町* つがる市稲垣町* つがる市車力町* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 三沢市桜町* 野辺地町野辺地* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駈 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 大間町大間* 東通村砂子又蒲谷地 佐井村長後*				
2025年08月22日07時34分	宮城県沖	38° 41.0' N	142° 14.5' E	43km	M5.6
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 階上町道仏* おいらせ町中下田* 震度 1 : 平内町小湊 外ヶ浜町蟹田* 八戸市島守 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 野辺地町野辺地* 七戸町七戸* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町塔ノ沢山* 五戸町倉石中市* 田子町田子* 青森南部町沖田面* 青森南部町平* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*				
2025年08月22日08時06分	宮城県沖	38° 41.7' N	142° 15.3' E	41km	M4.4
青森県	震度 1 : 八戸市南郷* 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2025年08月30日01時29分	宮城県沖	38° 26.6' N	142° 12.0' E	41km	M5.8
青森県	震度3 : 階上町道仏*				
	震度2 : つがる市稲垣町* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂*				
	震度1 : 青森市花園 青森市浪岡* 五所川原市敷島町* 平内町小湊 板柳町板柳* 鶴田町鶴田* つがる市車力町* つがる市木造* 外ヶ浜町蟹田* 藤崎町西豊田* 藤崎町水木* 田舎館村田舎館* 平川市柏木町* 八戸市島守 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 野辺地町野辺地* 七戸町七戸* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駈 田子町田子* 青森南部町沖田面* 新郷村戸来* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*				
2025年08月30日18時26分	岩手県沖	39° 20.0' N	142° 04.2' E	48km	M4.7
青森県	震度1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

北海道・三陸沖後発地震注意情報

気象庁は、昨年8月、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を運用開始以降初めて発表しました。この発表を受け、政府は南海トラフ地震防災対策推進地域の方々に対し、地震発生から1週間、日頃からの地震への備えの再確認や、地震が発生した際にすぐに避難できる準備などをするよう呼びかけました。この対応は、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された際に皆さんに呼びかけられる内容と同じです。

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたらどうすればよいか解説します。

■想定される巨大地震

北海道・三陸沖後発地震注意情報の対象領域である「日本海溝及び千島海溝沿いの領域」（図1）では、マグニチュード（M）7～9の大きな規模の地震が繰り返し発生し、幾度となく大きな被害を及ぼしてきました。

津波の痕跡調査から、平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震の大津波に匹敵する最大クラスの津波は、約300～400年間隔で発生したと推定されており、17世紀に発生した前回の巨大地震・大津波からの経過時間を考えると、最大クラスの津波を伴う巨大地震が切迫していると考えられています。

また、この巨大地震による強い揺れと巨大な津波により、甚大な被害が発生すると想定されており、大きな被害が見込まれる地域では、日本海溝及び千島海溝沿いの巨大地震に日頃から備える必要があります。



図1 想定される津波と震度
（リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」より）

■続いて発生し得る巨大地震にも備える「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

日本海溝及び千島海溝沿いの領域では、一度マグニチュード（M）7クラスの地震が発生した後、数日程度の短い期間において、さらに大きなマグニチュード（M）8クラス以上の大規模な後発地震が発生した事例を過去に2事例確認しています（図2）。

事例は少ないものの、この領域では同様の事象が発生する（続けて巨大地震が発生する）可能性がゼロではないことから、発生した場合に一人でも多くの命を救うため、想定震源域及びその周辺でマグニチュード（M）7.0以上の地震が発生した場合に、大規模地震発生の可能性が平時よりも相対的に高まっているとして「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。



図2 後発地震の発生事例と「北海道・三陸沖後発地震注意情報」
(リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」より)

■北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたら

この情報が発表された場合、発表から1週間程度は通常的生活（通勤・通学など）を送りつつ、日頃からの地震への備えの再確認、すぐに避難できる態勢の準備などを行ってください。

地震への備えの再確認として、水や食料などの備蓄品、簡易トイレや防寒具などの避難生活に必要なもの、避難場所・避難経路や家族との連絡手段、家具の固定などの再確認を行いましょう。水や食料などの備蓄品は、慌てて買い出しに行くことが無いよう、日頃から準備しておきましょう。

すぐに避難できる態勢の準備として、避難情報を取得するスマートフォンやラジオの音量を大きくし、電源が切れないように予備のバッテリーなどを準備しましょう。また、地震による土砂崩れが想定される場所にお住まいの方は、非常持出品をすぐに持ち出せるように準備し、逃げ出しやすい部屋や土砂崩れに巻き込まれにくい部屋で、すぐに逃げられる服装で就寝しましょう。（図3）

なお、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されているからといって、防災対応が必要な地域（情報の対象地域）への旅行や出張を中止しなければならない、というわけではありません。普段より巨大地震発生の可能性が高まっていることを念頭に置いていただき、常に緊急情報を取得できるようにし、滞在先の市区町村からのお知らせや交通状況等を事前に確認し、適切に行動できるよう心がけましょう。



図3 北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたときの防災対応
(リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」より)

■日頃からの地震への備えを忘れずに



図4 日頃からの地震への備え
(リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」より)

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されても、発表後1週間以内に大きな被害を伴うような大地震が発生しないことがほとんどです。たとえ、1週間以内に地震が起こらなかつ

たとしても、その後数か月から数年の間に何の前触れもなく大規模な地震が発生することも考えられます。想定されている地震が発生しなかったとしても、「空振り」ではなく防災意識の向上につながる「素振り（練習）」と捉えましょう。また、**情報発表のないまま、突発的に巨大地震が発生することがありますので、日頃から地震への備えを徹底しましょう。**

■北海道・三陸沖後発地震注意情報の留意事項

！ 後発地震の発生可能性は、世界的事例を踏まえても百回に1回程度で、1週間のうちに、後発の大規模地震が発生するとは限りません。

！ 国や自治体から、事前避難は呼び掛けませんが、地震発生から1週間程度、平時よりも大規模地震の発生に注意し、揺れを感じたり、津波警報等が発表された際に、すぐに避難できる準備等を徹底しましょう。

！ 1週間という期間は、人々が対応を続けられる限度等を加味しているため、1週間経てば後発地震が発生する可能性がなくなるわけではありません。引き続き、地震の発生に注意しましょう。

■参考

- ・「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について（気象庁ホームページ）
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/nceq/info_guide.html
- ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策（内閣府防災ホームページ）
https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/index.html
- ・ポスター・リーフレット「北海道・三陸沖後発地震注意情報」
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kitsan/index.html>
- ・リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震－事前の備え－」
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nceq/index.html>
- ・マンガで解説！日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震－事前の備えで命を守る！－
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nceq_manga/index.html